

2025年2月より新たにスタート!
公務試験対策講座に「早聴き講座」ができました
2025年2月3日(月)より申込みできます

2025 法職課程

公務員・法律関係職・法科大学院進学をめざす皆さんのための特別研修講座

◦ 申込方法・受講料、受講料応援制度	p.1
◦ 法学入門講座	p.3
◦ 公務員の仕事を知る、公務員試験の必勝合格法	p.4
◦ 公務員試験対策講座	p.5
A. 数的処理・SPI実践演習講座	
B. 地方上級第一志望コース講座	
C. 国家一般職等第一志望コース講座	
D. 地元市役所・警察・消防第一志望コース講座	
◦ 弁護士・裁判官・検察官（法曹）を志す方へ	p.8
◦ 法学基礎マスター講座	p.9
◦ 法科大学院入試対策ゼミ	p.10
◦ 法職課程相談室	p.11
◦ 法職課程研修室	p.12
◦ 合格者からのメッセージ	p.13

法職課程 4つの特長

1

講座の選択肢が多彩

公務員・法曹・民間への就職・学部試験に活きる3つの講座と1つのゼミ

2

工夫された講義・スケジュールときめ細やかな個別指導

組み合わせで自分に合った学習スケジュールが可能

3

ワンランク上の学習サポート:法職課程相談室の設置

法職カウンセラーが常駐し、さまざまな質問に対応

4

価格がリーズナブル

定評ある講座を安価で受講できる
さらに、Web講義を長期間受講することが可能

法律関係職および公務員をめざす皆さんへ

法職課程は、法律関係職および公務員への就職をめざす龍谷大学の学生の皆さんのために本学が開設するもので、大学の正規のカリキュラムを補完する特別研修講座です。

法律にたずさわる職業（法律関係職）としては法曹三者（裁判官・検察官・弁護士）がよく知られていますが、裁判所の事務官、検察庁の事務官、国税専門官といった国家公務員も法律関係職です。

また、公務員を志望する学生の皆さんに人気の高い警察官は、英語では法律執行官（Law Enforcer）という言葉があてられているので、広い意味では法律関係職といってよいでしょうし、消防士もまた消防法の専門家です。

そもそも、行政は法律に基づいて行われるものなので（「法律による行政の原理」といいます）、一般行政系の都道府県・市町村の地方公務員、国家公務員（総合職、一般職）もまた、実は、法律とは切っても切り離せない職業です。

皆さんの中には入学時点から公務員を志望する人も多いと思いますが、このように公務員もまた深く法律に携わる職業なのです。

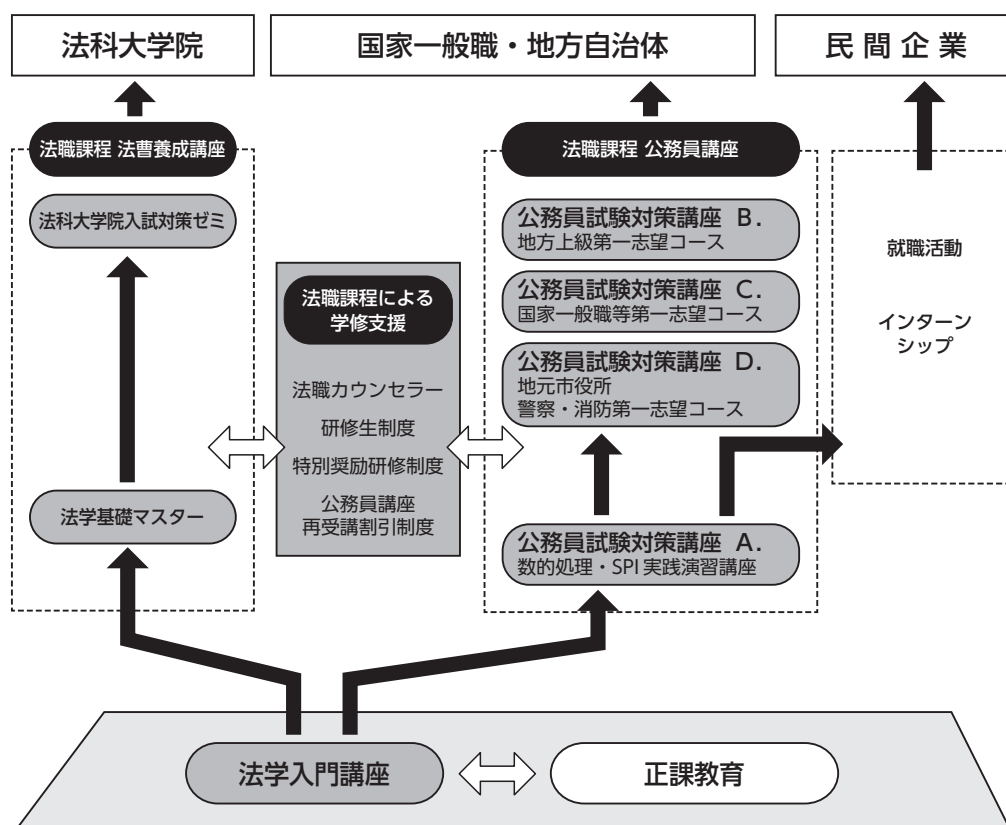
以上のとおり公務員を含めると法律関係職は非常に多様です。このように広い意味での法律関係職にはどのような職種が存在し、どのように学習を進めていけばよいか、具体的に理解している方は少ないように思います。

そこで、法職課程では、皆さんが大学での学修と、法職課程の受講を通じて、低年次から体系的に自身のキャリア形成や進路について考えることをサポートしつつ、年次進行に伴う進路変更にも対応できるような支援を行っています。

具体的には、各種資格試験の指導や公務員試験対策に実績のある伊藤塾と提携し、法律科目の基礎学習から試験対策へのスムーズな連携、みなさんの負担が少ない受講しやすいカリキュラム編成や、苦手意識を持つ方が多い数的処理対策の充実等を行っています。加えて、これらの講座は本学が財政的な支援を行っていますので、学外の予備校等が運営する同じ講座を低料金で受講することができます。

また、法職課程では、受講生の学内での自主的学習環境の充実にも力を注いでいます。具体的には、受講生のために、自習用の学習室を用意しています。加えて、「法職課程相談室」を設置し、法職カウンセラーが学習方法や受験対策の方法のアドバイスを行うことで、よりみなさんの学習を支援する体制を強化しています。

法学部の学生の皆さんに限らず、公務員を含む法律関係職および公務員への就職を希望する皆さん、さらには、学外の受験予備校への通学を考えている皆さん、法律学の知識を深めたいと考えている皆さんも、ぜひ法職課程を受講してください。皆さんの夢をかなえるお手伝いをする、それが法職課程の仕事です。



公務員試験対策「早聴き講座」は2025年2月3日(月)より ポータルサイトにて申込みを受付けます。

受講料は2025年4月1日～4月10日までに
受講したいコースに応じて証明書発行サービスを利用して支払ってください。

法職課程 申込方法について

- ①受講料は証明書発行サービスを利用して支払ってください。
- ②ホームページおよびポータルサイトに掲載された法職課程申込書を持って、法学部教務課（紫英館1階）に来てください。
- ③伊藤塾提供講座を申し込む際は、専用申込用紙に記入のうえ、必ず伊藤塾マイページに登録してください。

【申込期間】 2025年4月1日（火）～2025年12月19日（金） ※研修室は4月7日（月）まで
【受講料(税込)】 講座により料金が異なります。以下を確認してください。

講 座 名	金額（税込）
法学入門講座（提携校：伊藤塾） 対象：法律科目・公務員試験対策初学者（1・2年生中心）	9,720円
公務員試験対策講座（提携校：伊藤塾） 対象：公務員志望者（2・3年生中心）	A. 数的処理・SPI実践演習講座
	B. 地方上級第一志望コース講座
	C. 国家一般職等第一志望コース講座
	D. 地元市役所・警察・消防第一志望コース講座
法学基礎マスター講座（提携校：伊藤塾） 対象：法科大学院・法曹志望の1～3年生中心	憲・行・民・刑セット
	個別：憲法、行政法、民法、商法、刑法、 民事訴訟法、刑事訴訟法
法科大学院入試対策ゼミ 対象：法科大学院進学をめざす在学生および卒業生。定員5名程度。	25,920円
法職課程 研修室 申込期間：2025年4月1日（火）～4月7日（月） （応募資格は12ページを確認） ※事前に学習計画書の提出が必要となります。利用許可が出てから受講料を支払ってください。	1年間11,000円 半年間 5,500円

法職課程 受講料応援制度

法職課程では、勉強を続ける皆さんを応援するため、2つの制度を用意しています。

特別奨励研修制度

「法学基礎マスター講座」、「法科大学院入試対策ゼミ」受講者を対象とした受講料応援制度です。特別奨励生選考試験を受験し、一定の成績を納めた場合、受講料が後日返金されます。

選考試験は、A、Bとも、憲法・民法・刑法（各10問 合計30問）の短答式試験となります。受験料は無料です。
締切までに法学部教務課に申し込んでください。

特別奨励研修制度A	
対 象	法学基礎マスター講座受講者のうち 2年生
対 象 人 数	5名程度（3割以上の得点を得た者に限る）
試験実施日	2026年1月9日（金） 16：55～18：10（予定）
会 場	22号館105教室
申 込 締 切	2026年1月7日（水）まで

特別奨励研修制度B	
対 象	法科大学院入試対策ゼミ受講者のうち 3年生以上
対 象 人 数	5名程度（3割以上の得点を得た者に限る）
試験実施日	2025年4月18日（金） 16：55～18：10（予定）
会 場	22号館105教室
申 込 締 切	2025年4月16日（水）まで

公務員講座 再受講割引制度

前年度と同じ講座（A.数的処理・SPI実践演習講座を除く）を再度受講する方を対象にした受講料応援制度です。

5月30日（金）までに申し込んだ場合、受講料が半額となります。証明書発行サービスで申込む際に「再受講割引」を選択してください。

法職課程講座は進路選択の可能性を拡げます！

自分の進路をすでに決めていますか？

もちろん進路はなかなか決まるものではありませんし、決めたつもりでも途中で変わっていくことは多々あることです。

とはいえ、大学時代の4年間で、自分の進路選択にとってかけがえのない4年間であり、この間で何をするかが大切なことは言うまでもありません。言い換えれば、何も考えず何も行動も起こさず、学業にも力を入れず、ただなんとなく時間を過ごしてしまい、周りの人たちが就活を始めたからあわてて適当に就活を始めるといったことは、一番避けなければなりません。

そこで、法職課程では、皆さんの進路選択の可能性をさらに拡げるために、公務員・法曹・民間就職・学部試験に活かせる講座を1年生から学年に応じて提供しています。ぜひあなたの進路選択に役立ててください。

大切なことは「あなたは日本や世界をどんな社会にしたいのか」、そのために「自分は何ができるのか」を早めにかけて、自分で目標を決め、自己の人格を磨きながら大学生活を過ごすことです。

法職課程講座4つの特長

1. 講座の選択肢が多彩

公務員・法曹・民間への就職・学部試験に活きる3つの講座と1つのゼミを用意しました。

■1・2年生向けの「法学入門講座」(p.3)

1年生から幅広い進路選択に向けた学習が開始できるよう、公務員試験・法律資格試験の重要科目を中心に、Web講義と学内ライブ講義を行います。

■「公務員試験対策講座」(p.5～7)

法職課程では、A～D、4つの公務員試験対策講座を用意しています。公務員試験は科目数も多く、試験によって必要な科目が違います。2年生から勉強をスタートすると、国家一般職と地方上級職との併願や、地元市役所と地方上級との併願なども無理なく視野に入れることが可能です。

- A. 数的処理・SPI実践演習講座
- B. 地方上級第一志望コース
- C. 国家一般職等第一志望コース
- D. 地元市役所・警察・消防第一志望コース

■「法学基礎マスター講座」(p.9)

法律の基礎をしっかりと学ぶことができる講座です。7科目を開講しますので、国公立大学の法科大学院入試にも対応しています。各科目、個別に受講ができますので、苦手な科目対策だけでなく、裁判所事務官など司法機関で働く公務員試験に必要な法律科目対策としても活用できます。

学内ライブ講義では、答案の書き方の講義を行い、その後論文答案を作成することで、法科大学院入試の論文試験対策に必要なインプットとアウトプットを行います。

■「法科大学院入試対策ゼミ」(p.10)

弁護士が講師となり、法科大学院入試の過去問(憲法・民法・刑法)を使った答案作成と添削、解説を行うゼミ形式の講座です。

2. 工夫された講義・スケジュールときめ細やかな個別指導

■「法学入門講座」「公務員試験対策講座」「法学基礎マスター講座」

○自分のペースで学習しやすい「Web講義」と、無理なく続けられる「学内ライブ講義」

スマホなどで学べるWeb講座をベースとした授業となります。配信スケジュールが決まっているため、スケジュール

に沿った受講をすることで、無理なく勉強時間の管理ができます。また、視聴可能期間内はいつでも・何度でも聞くことができます。スケジュール通りにできなかった回の挽回もできます。何度も聞くことで弱点を克服することができます。

さらに定着力をUPさせるために、重要な箇所をピックアップした「学内ライブ講義」も実施。遠くの受講生も通いやすいよう、授業期間中に大学内で実施します。そこではWeb講義でわからなかった点を質問することもできます。

希望により個別指導や補助講義を随時実施します。各講座の講師や法職課程相談室の法職カウンセラーに相談してください。

■「法科大学院入試対策ゼミ」

土曜日、2コマ連続で開講されます。受講生は毎週答案を起草することで、書く力を着実に強化することができます。少人数ゼミでの開講のため手厚いサポートが受けられます。

3. ワンランク上の学習サポート：法職課程相談室の設置

法職課程相談室(p.11)を4号館2階に設け、授業実施期間中は、伊藤塾から派遣された法職カウンセラーが常駐しています。法科大学院入試や、司法試験をはじめとする各種国家試験や公務員試験について、最新の情報を提供しながら、将来の進路について一緒に考えてます。各講座に関する質問、学習方法や面接対策、志望先の選択なども気軽に相談できます。また学内ライブ講義を欠席した場合は、こちらでレジュメを受け取ることができます。

さらに、有料ですが、司法試験等の資格試験、法科大学院進学を目指す方のために、法職課程研修室(p.12)を設置しています。個人用指定席・ロッカーの他、書架には勉強に必要な資料を揃えています。

4. 価格がリーズナブル

「法学入門講座」「公務員試験対策講座」「法学基礎マスター講座」のWeb講義は、長期間申し込みができ、視聴可能期間も長く設定されているため、お得です。

また、大学からの支援を受けているため、予備校の正規受講料と比較するとかなり格安です。

法学入門講座（１・２年生向け）

本講座は、法学部１・２年生や法学未修者を主な対象としています。

法律科目の基本理解から始まり、講座終盤には公務員試験学習の入口を体験し、本格的な法曹・公務員試験学習への橋渡しを行います。科目の全体構造と「何を」「どう」学べばよいか分かり、今後の学習効率がグンとUPします。

※伊藤塾開講の「司法試験入門講座 体系マスター」（83,400円相当）と同一内容です。

受講対象	法律科目・公務員試験対策初学者 (１・２年生中心)
受講料	9,720円(税込)

【おすすめポイント】

- １．テキストは450ページ以上あるが非常にわかりやすい。
- ２．各法律科目のイメージがつかめる。
- ３．法律科目の講義の理解が容易になる。
- ４．試験の合理的学習法がわかる。
- ５．法曹・公務員試験勉強のスキルがわかる。

【Web講義 法学入門講座概要】

視聴期間:2025年4月1日(火)～2026年5月31日(日)

法学基本科目の法学入門・憲法・民法・刑法・商法・民訴法・刑訴法・行政法・法律実務（全39時間）が学習できます。

4月から法学の全体講座が学べるよう、講座を配信します。

※配信スケジュールは龍谷大学「法職課程」ホームページで確認してください。

【学内ライブ講義概要】

学内ライブ講義は、Web 講義とはまた違った観点から、より理解が深まるような講義です。

また、就職や公務員試験に使用されるSPI 試験や、公務員試験に合格するための主な教養科目全体のイメージが学べます。

科 目	担当講師
民 法	中出 弘之（伊藤塾講師）
刑 法	水川 恒佳（伊藤塾講師）
憲 法 S P I 科 目	皆月 健太郎（弁護士）
公 務 員	久木田 淳（伊藤塾講師）

【教材】

体系マスター「学ぼうテキスト」教材は自宅に配達するので、必ず、伊藤塾マイページに登録してください。登録後、1週間ほどで到着します。

通学ライブ講義には教室に各自持参してください。

その他、必要に応じレジュメを配布します。

講義には六法も持参してください。

■通学ライブ講義の実施日程（全15回）

回	日 程	16:55～18:25 (90分)	教 室
1	2025年 5月12日(月)	法曹を志す人へ	22-204
2	5月19日(月)	公務員を志す人へ	
3	5月26日(月)	憲法1	
4	6月 2日(月)	憲法2	
5	6月 9日(月)	憲法3	
6	6月16日(月)	憲法4	
7	6月23日(月)	民法1	
8	6月30日(月)	民法2	
9	7月 7日(月)	民法3	
10	7月14日(月)	民法4	
11	9月22日(月)	民法5	
12	9月29日(月)	民法6	
13	10月 6日(月)	刑法1	
14	10月13日(月)	刑法2	
15	10月20日(月)	SPI・数的処理	

公務員の仕事を知る

「公務員」と総称されますが、採用機関ごとに試験科目や内容が異なります。試験の日程が重ならなければ併願できるため、複数の試験を受験することが一般的です。

1. 国家公務員

国の行政機関（中央官庁およびその地方出先機関）を中心に、司法機関（裁判所）や立法機関（国会）でも、多くの公務員が活躍しています。仕事の種類・内容や試験日程等の詳細は、人事院のHP「国家公務員試験採用NAVI」にあります。

【行政機関で働く国家公務員】

■国家公務員総合職

政策の企画立案を担当。中長期的な視点で日本のグランドデザインを描く、スケールの大きな仕事に携わることができます。

■国家公務員一般職

政策を執行する行政事務のスペシャリスト。地域ごとに採用される地域の法務局、労働局、検察庁等。

■国家公務員専門職

国税専門官（税務）、財務専門官（財政・金融）、労働基準監督官（労務管理）、法務省専門職員（人間科学）は矯正心理専門職・法務教官・保護観察官など、特定分野のスペシャリストです。

【司法機関で働く国家公務員】

■裁判所事務官

裁判の円滑な進行に必要な業務を担う仕事。裁判所書記官のもとでさまざまな裁判事務を担当します。

■家庭裁判所調査官

家庭内の紛争解決や非行少年の立ち直りのため、専門的な知識や技法を活用して調査活動などを行います。

【立法機関で働く国家公務員】

■衆議院法制局・参議院法制局

法制局は国会議員の立法活動を支える機関。議員と協議を重ね議員の構想を法制度として具体化することが主な職務です。

■衆議院事務局・参議院事務局

事務局はそれぞれの議院の事務全般を担当。円滑な国会運営を行うために、会議の事務的な面でのサポート、議案等の審査や国政調査に資するための調査などを行います。

■国立国会図書館

「国会図書館」に勤務し、国会議員の立法活動を補佐するのが主な職務。世界有数の蔵書収容能力を誇る国立国会図書館の職員として、通常の図書館サービスも行います。

2. 地方公務員

都道府県や市町村で働く公務員の総称です。国（中央省庁）において各省庁が担当している仕事のほとんどを各自治体が担うため、さまざまな分野に携わることができ、自分の興味にあった仕事を発見することができます。

■都道府県庁、政令指定都市の職員

市区町村の区域を越えて、広域的な行政に携わります。詳細は、各都道府県等のHPにて提供されています。

■地元市町村の職員

総合的な行政サービスを最も住民に近い立場から行います。ごく身近にイメージできる仕事です。詳細は、各市町村のHPにて提供されています。

■警察官・消防官

警察官は、警察庁で働く国家公務員と、都道府県警察で働く地方公務員に分かれています。消防官は地方公務員になります。どちらも教養試験対策と面接の対策に加え、身長・体重基準・運動能力の試験があります。消防官は論文試験が実施される場合もあります。

公務員試験の必勝合格法

1. 第一志望先を決める。そのために、早めに学習を開始する

とりあえず自分の第一志望を決めることが合理的学習に有利です。

もちろん、勉強を始めてみて、自分の実力や適性を考えながら変更することもあります。そのために、早めに学習を開始することをおすすめします。

2. 志望の公務員試験の出題傾向を知る

たくさんの公務員試験対策の本や雑誌、志望先職員による説明会、パンフレットがあります。また志望先のHPには過去問なども掲載されています。

大学の講義も、その科目に添って履修するのもおすすめです。

3. 志望先の情報収集を行う

志望先の情報は定期的にチェックする日を設けます。志望先の説明会には必ず参加しましょう。面接対策にも役立ちます。またインターンシップに参加するのもおすすめです。

4. 併願先を決め受験の選択肢を拡げておく

志望先をひとつに絞るのではなく、併願先も早めに決めて、受験の選択肢を拡げましょう。併願先の選択次第で学習科目も多くなってきます。

5. 自分で学習のスケジュールリングをする習慣をつける

年・月・週単位でスケジュールリングする習慣をつけ、勉強時間を確保し、そこには他の予定を入れないようにしましょう。

6. 勉強方法を間違えないようにする

短期で効率的に学習するには、勉強の方法を間違えないことが大切です。それには、法職課程の指導の方法にすなおに従って学習することです。過去の本試験問題が繰り返し形を変えて出題されます。

7. 学習を継続する

合格後の自分をイメージし、学習計画を立て、その時間は勉強するという自然な学習習慣を身につけ、継続しましょう。法職課程相談室の法職カウンセラーと一緒に学習計画を立て、チェックしてもらうこともできます。

※法職カウンセラーに気軽に相談してください

※2025年2月より「早聴き講座」がスタートします。一足先の勉強で合格を手にしよう！

法職課程 公務員試験対策講座の特長

1. Web講義による効率的な学習（2月より「早聴き講座」として受講可）

わかりやすさで定評のある伊藤塾作成のテキストを使って、メリハリのあるレクチャーと過去問演習を組み合わせたWEB講義で、試験に必要な知識と解答技法を効率的に学べます

2. 「グループワーク（集団討論）」、「面接対策、ゼミ」を含む学内ライブ講義（全20回）

個別面接や集団面接及び集団討論の配点は高く、合否を左右します。対面での学内ライブ講義でのグループワークや面接の指導で丁寧な対策を行います。

3. 面接対策として「模擬面接」や「面接カード」の添削

伊藤塾とのオンラインにより ①志望先ごとに合格水準に達するまで何度も利用できる「模擬面接」、②本番直前まで、いつでも何度でも自分のペースで利用できる「面接カード」の添削を実施します。

4. 数的処理・SPI実践演習講座（全11回）学内ライブ講義

苦手となりがちな数的処理を、学内ライブ講義でも実施します。Web講義での疑問点なども質問できます。



法職課程HP

まずは龍谷大学生専用の法職課程公務員試験対策講座の説明動画をチェック！

法職課程利用者 過去2年度公務員試験合格先

奈良地検、国税庁、京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、京都市、吹田市、摂津市、城陽市、
白山市、京都府警、大阪府警、国立大学法人など

公務員試験対策講座 A. 数的処理・SPI 実践演習講座

公務員試験の教養試験の中心科目のひとつです。数的処理は多くの方が苦手とし、そのマスターには学習時間が必要です。

正規の公務員講座を受ける前に、早めに苦手科目を克服しておきたい方におすすめです。

民間企業への試験対策にもなります。

※次ページ以降の公務員試験対策講座を受講すると、別途申込不要・無料で受講できます。

受講対象	公務員志望者（1・2・3年生中心）
受講料	30,000円（税込）

【Web講義】「数的処理」と「文章理解」の53時間が視聴可能です。

視聴期間:2025年4月1日(火)～2026年9月30日(水)

※配信スケジュールは龍谷大学「法職課程」ホームページで確認してください。

【学内ライブ講義】

数的処理の8回の講義では、頻出・重要・難解な問題を解き、その解法を講義します。授業内で繰り返し問題を解くことで、解法をマスターできるようにします。また、民間のみでなく、市役所等でも採用されている適性試験「SPI」の講義も実施します。最後に、夏休み明けに2回総まとめを行います。

【教材】自宅に配達するので、必ず、伊藤塾マイページに登録してください。

【学内ライブ講義 実施日程】

■数的処理・SPI 実践演習講座（全8回）			
回	日 程	16:55～18:25 (90分)	教 室
1	2025年 5月28日(水)	数的処理1	22-302
2	6月 4日(水)	数的処理2	
3	6月11日(水)	数的処理3	
4	6月18日(水)	数的処理4	
5	6月25日(水)	数的処理5	
6	7月 2日(水)	数的処理6	
7	7月 9日(水)	数的処理7	
8	7月16日(水)	数的処理8	
9	9月24日(水)	SPI演習	
10	10月 1日(水)	総まとめ①	
11	10月 8日(水)	総まとめ②	

担当講師
皆月 健太郎（弁護士）

公務員試験対策講座 B. 地方上級第一志望コース講座

県庁や政令指定都市の市役所志望者は、この講座をすすめます。前期で合格レベルの知識を習得します。

※伊藤塾開講の「地方上級コース」(298,000円相当)と同一内容です。

受講対象	公務員志望者(2・3年生中心)
受講料	95,000円(税込) ※再受講割引あり

【Web講義】

詳細は下に掲載しています。

【学内ライブ講義】

詳細は下に掲載しています(C. 国家一般職等第一志望コース講座と共通開講)。前半(16:55~)は教養・面接対策、後半(18:20~)は専門対策となります。地方上級のための志望者は、前期のみで合格レベルのインプットは十分です。

公務員試験対策講座 C. 国家一般職等第一志望コース講座

国家一般職をめざす方、国税専門官・裁判所事務官・家庭裁判所調査官・労働基準監督官・財務専門官などが第一志望の方はこの講座をすすめます。

※伊藤塾開講の「地方上級コース」(298,000円相当)と同一内容です。

受講対象	公務員志望者(2・3年生中心)
受講料	95,000円(税込) ※再受講割引あり

【Web講義】

B. 地方上級第一志望コース講座と共通です。また、専門試験対策として10科目(憲法、行政法、民法、経済学、財政学、経営学、政治学、行政学、社会学、国際関係)を提供しています。実際の公務員試験ではそのなかから科目を選択し受験します。

【Web講義】

視聴期間：2025年4月1日(火)~2026年9月30日(水)

※配信スケジュールは龍谷大学法学部「法職課程」ホームページで確認してください。

●勉強技術講義2時間	
●教養科目	数的処理44時間・文章理解9時間・人文科学42時間・社会科学33時間・自然科学42時間
●専門科目 〈法律系〉	憲法18時間・行政法24時間・民法30時間・労働法9時間・刑法6時間
〈経済系〉	経済学48時間・財政学10時間・経済事情2時間
〈行政系〉	政治学15時間・行政学15時間・社会学15時間・国際関係15時間 社会政策9時間・経営学10時間

す。24年度から変更されますのでご注意ください。

【学内ライブ講義】

後期は、国家一般職レベルに合わせた難度のやや高い講義になります。集中して受講し、知識をブラッシュアップしてください。裁判所事務官等の専門職併願希望者は、法職課程相談室に在室する法職カウンセラーに相談してください。必要な科目の個別対応・フォローをします。

●時事講義31時間・教養論文講義26時間・面接対策講義4時間・公務員仕事研究2時間	
●択一演習(各演習30分+解説80分)	
〈教養科目〉	数的処理5回・文章理解6回・社会科学9回・人文科学9回・自然科学4回・教養論文演習11回
〈専門科目〉	憲法4回・行政法4回・民法5回・経済学4回・財政学2回・経営学2回・刑法・労働法・政治学・行政学・社会学・国際関係 各1回
●面接カード添削：受験前年より、本人が希望すれば何度でも可	
●模擬面接：1受験先につき1回+α	

【学内ライブ講義 日程】 前半はB、C、D同一クラスでの開講。

■通学ライブ講義の実施日程(前期12回、後期8回、全20回)				
前期	日程	16:55~18:10 (前半)	18:20~19:10 (後半)	教室
1	2025年 5月 9日(金)	オリエンテーション	面接カードの書き方	21-507
2	5月23日(金)	グループワーク1	憲法1	
3	6月 6日(金)	社会科学(政治)	憲法2	
4	6月27日(金)	グループワーク2	憲法3	
5	7月11日(金)	グループワーク3	民法1	
6	10月 3日(金)	社会科学(経済)	民法2	
7	10月24日(金)	グループワーク4	民法3	
8	11月 7日(金)	グループワーク5	民法4	
9	11月21日(金)	社会科学(社会)	経済学	
10	12月 5日(金)	グループワーク6	行政法1	
11	12月19日(金)	グループワーク7	行政法2	
12	2026年 1月 9日(金)	文章理解対策	行政法3	

後期	日程	13:30~14:30 (前半)	14:40~16:10 (後半)	教室
1	2月 6日(金)	グループワーク8	憲法1	21-507
2	2月 7日(土)	時事1	憲法2	
3	2月20日(金)	時事2	民法1	
4	2月21日(土)	グループワーク9	民法2	
5	3月 6日(金)	時事3	行政法1	
6	3月 7日(土)	グループワーク10	行政法2	
7	3月13日(金)	総まとめ1	面接対策	
8	3月14日(土)	総まとめ2	面接対策	

担当講師

久木田 淳(伊藤塾講師)

※加えて「A. 数的処理・SPI実践演習講座(P.5)」の通学ライブ講義も受講できます。

公務員試験対策講座 D. 地元市役所・警察・消防第一志望コース講座

教養試験対策を中心にした講義です。専門試験科目試験がない国家公務員・地方公務員・警察・消防・刑務官等を志望される方はこの講座をすすめます。※伊藤塾開講の「教養型市役所コース」(170,800円相当)と同一内容です。

受講対象	公務員志望者(1・2・3年生中心)
受講料	50,000円(税込) ※再受講割引あり

※専門試験がない公務員を志望する場合は、こちらのコースとなります。

【Web講義】

試験科目に専門科目はありませんので、教養科目がメインとなります。

視聴期間:2025年4月1日(火)~2026年9月30日(水)

※配信スケジュールは龍谷大学「法職課程」ホームページで確認してください。

【学内ライブ講義】

下表の通学ライブ講義に加え、「A. 数的処理・SPI実践演習講座(P.5)」の通学ライブ講義も受講できます。

【Web講義内容】

●勉強技術講義2時間	
●教養科目	数的処理44時間・文章理解9時間・人文科学42時間 社会科学33時間・自然科学42時間
●時事講義31時間・教養論文講義26時間・面接対策講義4時間・公務員仕事研究2時間	
●択一演習（各演習30分+解説80分）	
〈教養科目〉	数的処理5回・文章理解6回・社会科学9回・人文科学9回・自然科学4回・教養論文演習11回
●面接カード添削：受験前年より、本人が希望すれば何度でも可	
●模擬面接：1受験先につき1回	

【通学ライブ講義】 B、Cと同一クラスでの開講。

■通学ライブ講義の実施日程(前期12回、後期8回、全20回)			
前期	日程	16:55~18:10(75分)	教室
1	2025年 5月 9日(金)	オリエンテーション	21-507
2	5月23日(金)	グループワーク1	
3	6月 6日(金)	社会科学(政治)	
4	6月27日(金)	グループワーク2	
5	7月11日(金)	グループワーク3	
6	10月 3日(金)	社会科学(経済)	
7	10月24日(金)	グループワーク4	
8	11月 7日(金)	グループワーク5	
9	11月21日(金)	社会科学(社会)	
10	12月 5日(金)	グループワーク6	
11	12月19日(金)	グループワーク7	
12	2026年 1月 9日(金)	文章理解対策	
後期	日程	13:30~14:30(60分)	教室
1	2月 6日(金)	グループワーク8	21-507
2	2月 7日(土)	時事1	
3	2月20日(金)	時事2	
4	2月21日(土)	グループワーク9	
5	3月 6日(金)	時事3	
6	3月 7日(土)	グループワーク10	
7	3月13日(金)	総まとめ1	
8	3月14日(土)	総まとめ2	

担当講師
久木田 淳(伊藤塾講師)

弁護士・裁判官・検察官（法曹）を志す方へ

弁護士・裁判官・検察官（法曹）になるためには、司法試験に合格し、1年間の司法修習を経て、司法修習生考試（2回試験）に合格する必要があります。

司法試験を受験するためには①法科大学院に進学・修了、または、②司法試験予備試験に合格する必要があります。

司法試験は、法科大学院に進学した場合、在学中から受験可能です。最初の受験から5年間、受験できます。

司法試験予備試験は、前年に論文式試験まで合格していても、翌年短答式試験から受けなおす必要があります。

○司法試験科目：論文式試験と短答式試験の2種類

短答式試験 憲法、民法、刑法

論文式試験 公法系（憲法・行政法）、民事系（民法・商法・民事訴訟法）、刑事系（刑法・刑事訴訟法）、選択科目

司法試験を受けるためには、2つのルートがあります。

1. 法科大学院に進学

法学既修者コース（2年）と法学未修者コース（3年）があります。法学部出身の場合は既修者コースを受ける学生が多いですが、未修者コースを受けることも可能です。

また、学部3年次に、法科大学院の入学試験を受験できる「飛び入学」制度がある法科大学院もあります。

大学によって試験科目が異なりますので、必ず確認してください。たとえば関西の私大は、憲法・民法・商法、刑法、国公立大は憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法などとなっています。

入学試験も、大学によっては複数回実施されますので、チャンスは増えます。

また、学費・入学金等の減免制度や返済不要な奨学金といった経済的支援制度が用意されているところもあります。

法科大学院についての詳しい情報は、それぞれの法科大学院のホームページを確認してください。

司法試験は、在学中から受験可能です。最初の受験から5年間、受験できます。

2. 司法試験予備試験を受験

受験資格はありません。学歴や職歴、国籍に関係なく、誰もが短答式試験から受験することが可能です。最近では、法科大学院に在籍しながら受験する学生も多くいます。

7月に短答式試験、9月に論文式試験、最終の口述試験は翌年1月に実施されます。短答式試験に合格すると論文式試験を受験することができます。また論文式試験に合格すると口述試験を受けることができます。最終合格率は令和5年度が3.58%です。

短答式試験は、公法系（憲法・行政法）、民事系（民法・商法・民事訴訟法）、刑事系（刑法・刑事訴訟法）、一般教養科目となっています。

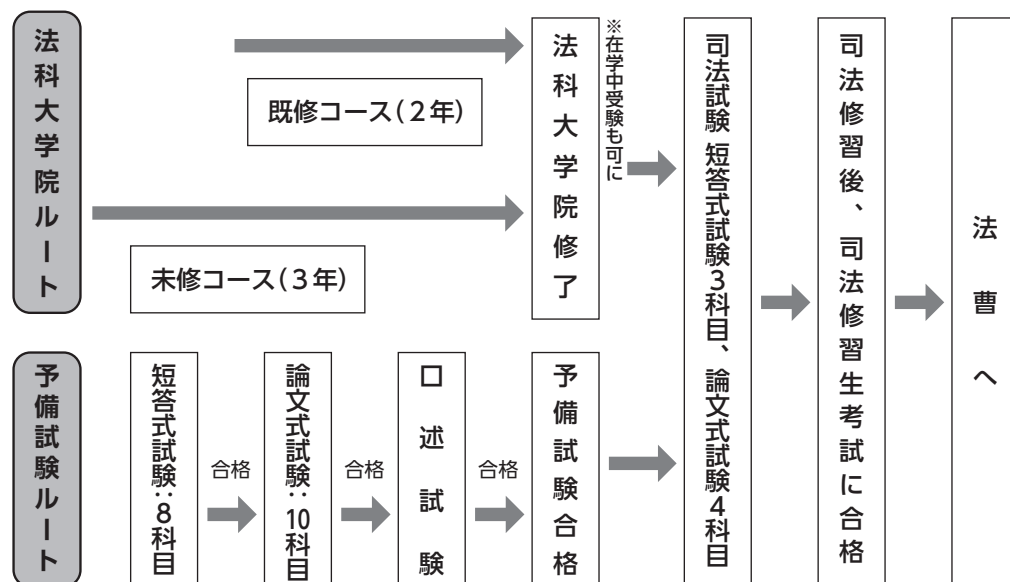
論文式試験は、公法系（憲法・行政法）、民事系（民法・商法・民事訴訟法）、刑事系（刑法・刑事訴訟法）、選択科目（労働法・経済法・知的財産法・倒産法・環境法・租税法・国際公法・国際私法）、法律実務基礎科目（民事・刑事）となっています。

口述試験は、法律実務基礎科目（民事・刑事）となっています。

詳細は法務省のHPを確認してください。

また、司法試験予備試験に合格後司法試験を受け、合格した場合は、合格発表後の最初の4月1日から5年間、司法試験を受けることができます。

●法曹資格を得るためのルート



法科大学院入試対策 法学基礎マスター講座

憲法・行政法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法といった基本7科目の基礎を理解し、法科大学院入試に必要な法律知識の基礎を固めます。お得な憲・行・民・刑のセット講座のほかに、必要な科目だけを受講できる講座も提供しています。

Web講義でインプット、学内ライブ講義でアウトプットを行うことで、着実に力を養います。

答案作成がわからない方は「学内ライブ講義」を受講してください。

※伊藤塾開講の「司法試験入門講座 基礎マスター法律基本科目・リーガルトレーニング基礎編」(810,200円相当)と同一内容です。

受講対象	法科大学院・法曹志望の1～3年生
受講料	憲・行・民・刑セット:35,000円(税込) 個別(憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法):各15,000円(税込)

【Web講義 法学基礎マスター講座概要】

視聴期間:2025年4月1日(火)～2026年7月31日(木)

※配信スケジュールは龍谷大学「法職課程」ホームページで確認してください。

〈司法試験予備試験・法科大学院入試合格レベルの法律の基礎を本格的に学べる講座です〉

伊藤塾入門講座の、まさに核となるインプット講座として、これまで多くの合格者を輩出してきた実績のある代表的講座です。公務員試験の基礎固めから、国家公務員総合職採用試験、司法試験予備試験・難関法科大学院合格まで、法律関係の資格取得に必要な力を着実に修得します。

また、Web講義なので、自分に合ったペースで受講できます。一気に学習したい方はもちろん、学部試験時期やサークル活動が忙しい時期があっても、学習時間を自由にカスタマイズすることが可能です。大学生生活と両立できて、法律を初めて学ぶ他学部の学生や、まだ法律系資格の目標を決めていない方にもおすすめです。

3時間を1コマ単位として、週3回1日3時間の学習をおすすめします。

【学内ライブ講義 リーガルトレーニング基礎編概要】

〈基礎マスターの知識をもとに、論文式試験の合格答案の書き方を学べる講座です〉

法学基礎マスター講座でインプットした知識と理解を、論文式問題演習を通じて、実際に答案を時間内に書くことで、本番の試験で必要な応用力を実践的に訓練します。

論文式の答案練習では、最初は誰もが何も書けずに苦しい時間を過ごすだけになるのが通常です。そこで、通学ライブ講義においては、毎回テーマを決めて、最初に答案の書き方講義を実施した後に答案を書く方法を探り、最終的に答案を作成するために必要な能力を効率よく習得できるようにトレーニングします。

答案練習については、インプットが不十分だからと後回しにされる方も多いのですが、アウトプットの訓練はできるだけ早く開始することが重要です。実際に決められた時間内に答案を書くトレーニングをすることで、自分が試験で合格点を獲得するために必要な学習は何か、いち早く検証できます。その検証を繰り返すことで、合格に向けて、マスター講座の勉強方法をアウトプットを意識したものに修正していくことが可能になるのです。

【教材】

入門講義テキストと答練教材は自宅に配達します。必ず、伊藤塾マイページに登録してください。登録後、1週間ほどで届きます。

答練の実施日には問題・解説と答案用紙を持参してください。また、六法も持参してください。

■学内ライブ講義の実施日程(全10回)

本問の書き方講義(30分)+論文答練1問(60分)

回	日程	16:55～17:25(30分)	17:30～18:30(60分)	教室
1	5月28日(水)	答案の書き方講義 憲法1回	答練・質問受付	22-204
2	6月11日(水)	答案の書き方講義 憲法2回	答練・質問受付	
3	6月25日(水)	答案の書き方講義 憲法3回	答練・質問受付	
4	9月24日(水)	答案の書き方講義 民法1回	答練・質問受付	
5	10月 8日(水)	答案の書き方講義 民法2回	答練・質問受付	
6	10月22日(水)	答案の書き方講義 民法3回	答練・質問受付	
7	11月 5日(水)	答案の書き方講義 民法4回	答練・質問受付	

担当講師

中出 弘之(伊藤塾講師)

法科大学院入試対策ゼミ

【講座概要】

- このゼミは、法科大学院入試（既修者コース）合格をめざす講座です。
- 講師が各受講生の論文答案を添削した上で、問題と答案の書き方について解説します。解説においては、講師から受講生に質問するなどして思考のフィードバックを行い、答案作成の際の法的思考過程を検証しながら、法的思考力の強化を図っていきます。
- このゼミは、法的思考力の基本的トレーニングに重点をおいて進めるので、上位校のロースクールをめざす人や高順位での合格をめざす人は、ぜひ受講を検討してください。
- なお、このゼミでは原則として法科大学院入試の過去問等を使用します。

受講対象	法科大学院への進学をめざす在学生および卒業生
定 員	5名程度
受 講 料	25,920円（税込）

【講座内容】

①学習する分野

原則的に憲法・民法・刑法の3科目です。

②授業までにすること（初回除く）

自宅で答案を作成し、授業の3日前までに講師に送付、当日講評の流れです。

詳しいことは初回の講義にて説明いたします。

【講師紹介】

浅田 和樹（弁護士、関西大学法科大学院修了）

中嶋 章人（弁護士、京都大学法科大学院修了）

細田 昌孝（弁護士、同志社大学法科大学院修了）

※すべて龍谷大学法学部出身の先生方です。

■講義日程

回数	日 程	時間	教室
1	5月10日(土)	3・4講時	4-404
2	5月17日(土)		
3	5月24日(土)		
4	5月31日(土)		
5	6月 7日(土)		
6	6月14日(土)		
7	6月21日(土)		
8	6月28日(土)		
9	7月 5日(土)		
10	7月12日(土)		
11	7月19日(土)		
12	8月 9日(土)		
13	8月30日(土)		
14	9月 6日(土)		
15	9月13日(土)		
16	9月20日(土)		
17	9月27日(土)		
18	10月 4日(土)		
19	10月11日(土)		
20	10月18日(土)		
21	10月25日(土)		
22	11月 8日(土)		
23	11月15日(土)		
24	11月22日(土)		
25	12月 6日(土)		
26	12月13日(土)		
27	12月20日(土)		
28	12月27日(土)		
29	1月10日(土)		
30	2月 7日(土)		

※2024年度から新たに元検事が相談員となりました。

法職課程相談室 法職カウンセラーが常駐しています

深草学舎の4号館2階（211・212教室）に、「法職課程相談室」を設置しています。

大学の授業期間中の平日の午後、法職カウンセラーが常駐し、相談に応じています。

法職課程講座の内容に関する質問はもちろん、勉強計画の立て方や、進路相談、公務員試験・法科大学院入試・司法試験予備試験・司法試験に関する最新情報と試験対策、公務員試験でのエントリーシートや法科大学院入試での志望理由書の書き方など、一人一人のニーズにあわせたきめ細やかな相談対応を行っています。法学部以外の学生の皆さんも気軽に来室してください。

また、「龍谷大学法学部に入学したが、将来の進路に迷っている」、「なにか資格でもとは思いうが、まだなにから手を付けたらよいのかもわからない」といった悩みでも大丈夫ですし、法曹に興味がある方は元検事や弁護士の先生にそれぞれの実務内容を聞いてみましょう。

それぞれの授業スタイル、生活パターンに沿った学習計画を一緒に立てていきましょう。

長期間の勉強のペースメーカーとして相談室を定期的にご利用いただいている方もいます。

開室日時：平日 13:00～16:00（担当者等詳細は毎月相談室に掲示し、またポータルサイトで案内します）

※授業期間中に開室。祝日、全学休講日は閉室。

場 所：4号館2階 211・212教室

※学内ライブ講義の欠席分のレジュメは、法職課程相談室でお渡します。

■利用方法

直接、4号館2階の相談室にお越しください。また、予約も可能です。相談室は、法職課程受講者でない方も利用できます。

■利用者の声

加藤 紅葉 さん（2025年3月法学部卒業）

関西学院大学法科大学院（未修）、同志社大学法科大学院（未修）、立命館大学法科大学院（未修）合格

法職課程相談室は、法科大学院を目指す方や、法学の学習に悩む方に、ぜひ活用してほしい制度です。

私は進路相談から法科大学院の入試対策に至るまで、相談室でありとあらゆるサポートをしていただきました。私が自信をもって、志望理由書を提出できたのは、幾度も添削をしていただけたおかげです。また、面接指導や、小論文の答案添削をしていただいたおかげで、多くの法科大学院に合格することができました。

何か困ったことがあれば、ぜひ相談室を利用してみてください。温かくも心強いスタッフの方々が、きっと力になってくれます。

2025年度 法職課程相談室 法職カウンセラースタッフ	
●水川恒佳 龍谷大学法科大学院（既修）修了 【担当】進路・受験指導、法律科目一般、志望理由書・法律答案の書き方指導	●中出弘之 伊藤塾講師 立命館大学法科大学院（既修）修了 【担当】進路・受験指導、法律科目一般、答案の書き方指導
●皆月智子 九州大学大学院法学研究科修士課程（民事法専攻）修了 龍谷大学法科大学院（未修）修了 【担当】進路・受験指導、法律科目一般	●馬場真一郎 京都大学大学院経済研究科博士課程後期単位取得後退学 京都大学法科大学院（未修）修了 【担当】進路・受験指導、法律科目一般、法律答案の書き方指導、数的処理、経済学
●皆月健太郎 弁護士 京都大学大学院理学研究科博士課程単位取得後退学 龍谷大学法科大学院（未修）修了 【担当】受験指導、法律科目一般、数的処理、弁護士実務	●石出 稔 大阪大学法科大学院（既習）修了 【担当】法科大学院受験・志望理由書の書き方指導、法律科目一般
●赤井勝治 元検事・元弁護士 立命館大学法学部卒業 司法試験合格 立命館大学法学部・立命館大学法科大学院非常勤講師を歴任 TVドラマ「京都地検の女」シリーズや「科捜研の女」等の法律監修 【担当】検察実務、弁護士実務、受験指導	●辻元 雅哉 大阪大学法科大学院（既習）修了 【担当】法科大学院受験・志望理由書の書き方指導、法律科目一般
●橋本 亮 弁護士 龍谷大学法科大学院（既修）修了 【担当】受験指導、法律科目一般、弁護士実務	●伊藤塾スタッフ 【担当】進路・受験指導一般

法職課程研修室

4号館2階に法職課程研修室を開設しています。
研修室には個人指定席が設置され、落ち着いた
環境で勉強に専念できます。

施設概要

- 名 称：法職課程研修室
- 所 在 地：深草学舎 4号館2階
- 設 備：広さ約55㎡
 - ※机およびイス（全18台）
 - ※書類ロッカー（全18台）
 - ※書棚
- 定 員：18名



利用にあたって

- 応募資格：本学（短期大学部を含む）に在学する者又は卒業若しくは修了した者で、司法試験又は法科大学院入学試験の合格を目指す者です（講座の受講状況や学習計画書等により総合的に判断します）。
なお、定員に余裕がある場合には、司法書士試験等の各種資格試験や公務員試験の合格を目指す者も対象としています。
- 利用期間：4月から翌年3月末までの1年間です。
ただし、事前に申し出て許可された場合は、4月から9月末または10月から翌年3月末の半年間とすることもできます。
- 利用時間：法職課程研修室を利用できる時間は次のとおりです。
平 日 9：00～21：50 土曜日 9：00～17：00
日曜日、祝日および大学で定める日は閉室となります。
- 利用料金：年間11,000円〈税込〉（半年間の場合は5,500円〈税込〉）です。
- 利用方法：入室管理は電子ロックキーで行います。入室するためのパスワードは法学部教務課が教えます。
- 順守事項：1フロアを共用することになるので、皆が気持ち良く利用できる環境の維持を心がけてください。また、貴重品は自己責任において管理してください。

申込方法等

- 申込方法：利用希望者は以下の書類を法学部教務課に提出してください。
①学習計画書 ②座席希望届（法職課程HPおよび法学部教務課にて所定用紙を配布）
- 申込期間：4月1日（火）～4月7日（月）
定員を超えた場合、選考します。定員に満たない場合は、引き続き申込を受け付けます。
- 利用可否：法職課程委員会において利用の可否を判断します。
- 注意事項：座席位置を決める参考としますので、申込時に座席希望届に希望する場所を記載してください。
- 受講料：利用許可がでましたら、証明書発行サービスにて利用料を支払ってください。

公務員試験合格者からのメッセージ

嶋田 瑠菜さん（2025年3月法学部卒業）
〈内定先〉奈良地方検察庁



1. 法職課程について

私は、大学3年生の4月に、龍谷大学法職課程の国家一般職等第一志望コース講座を受講しました。

伊藤塾のWeb講義では、どの教科も説明がとても分かりやすく、重要な部分に関しては何度も反復して教えていただけたので知識が定着しやすかったです。特に、試験の頻出度をランクによって区別されていたのが、教科の多い専門科目では、勉強する範囲の取捨選択をしやすかったです。また、マークの使い分けや、メモすべきところを教えていただけるので、全ての動画を見終わった後には、テキストを読み返すだけで、動画で言っていた内容を思い出し、復習するときにも非常に役立ちました。伊藤塾では、効率的な法律学習のノウハウを教えていただけるので、法律系を勉強するのが苦手という人にはとてももったりだと思います。私自身も民法の勉強が苦手でしたが、公務員試験を受けたときには民法の点数が1番高く、自身の成長を非常に感じる事ができました。

また、Web講義では、電車での移動時間や大学での空きコマなど、スキマ時間に勉強することができ、効率良く勉強できるという部分がWeb講義でのメリットだと思います。

大学での対面講義は、1ヶ月に2回ほどあり、法律科目や社会科学を中心に授業していただきました。その授業においては、過去問を決められた時間に解き、後から一問ずつ重要な箇所と一緒に解説していただいたので、非常に分かりやすいうえに問題の解き方にも大分慣れるようになりました。グループワークにおいては、事前に課題となるテーマを発表され、当日までにその問題を調べて、グループ内で共有を行うというものでした。自分の意見やグループメンバーそれぞれの意見をより深掘りしていくことで、

その課題についての多角的な視点から考えることができ、官庁訪問でのグループワークにもその経験が非常に活かされました。

担当講師からのオンラインでのカウンセリングも定期的にあり、勉強スケジュールの立て方や不安科目についての対策など、様々な相談に乗っていただけるので公務員試験への不安や困難を乗り越えることができました。

2. 法職課程相談室について

法職課程相談室では、公務員試験での勉強スケジュールや面接対策についての相談、様々なことを親身に相談に乗ってもらえます。私自身3回ほど相談室を利用し、官庁訪問前に面接カードの添削をしていただいたり、奈良県庁でのグループワークの相談をさせていただきました。勉強スケジュールの立て方やいつから面接対策をすれば良いのかなど、公務員試験で悩むことがあれば相談室を利用するのがとても良いと思います。

3. 最後に

公務員試験は、周りの民間企業に比べて内定が決まるのが非常に遅く、色々な悩みや様々な焦りが常に付きまとい、精神的にも非常にしんどくなります。そのため、些細なことでも誰かに相談したり、気分転換をすることがとても重要になってきます。私自身、官庁訪問の面接直前に不安に陥ったとき、法職課程の相談室を利用したことで、多くの不安を和らげることができました。

公務員試験は学習する教科が多く、事前に余裕を持って取り組むことが大事です。また、面接対策もかなり重要となってくるので、志望先の官庁や市役所の情報を常に収集し、説明会などの参加を心がけることが大切です。

法科大学院合格者からのメッセージ

下島 瑠衣斗さん（2025年3月法学部卒業） 進学先：大阪大学法科大学院（既修）
合格先：神戸大学法科大学院（既修）、名古屋大学法科大学院（既修）



1. 法職課程について

私は、2年生の4月から法学基礎マスター講座を受講し、3年生と4年生のときに法職課程研修室を利用していました。

法学基礎マスター講座は、事前に送られてきたテキストを元に、各自が映像資料を観て勉強を進めていくものです。この講座のメリットはたくさんありますが、一番は勉強の効率を上げることにあると思います。法律の勉強はとにかく量が膨大で、中には重要度が低い分野もあります。もちろん、基本書を使って独学で勉強を進めていくことも可能ですが、初学者の段階ではどの分野が重要かを判断するのは難しいです。この点、法学基礎マスター講座は単元ごとにランク付けがなされており、重要な分野は時間をかけて丁寧に扱ってくれるので、効率よく勉強を進めることができます。また、日々の勉強のペースメーカーになる点もよいと思います。先ほども述べたように、法律の勉強は量が膨大なため、途中でだらけてしまう可能性があります。そのため私は、休日は最低でも6本の講義を視聴するように目標設定し、継続して勉強することを心がけていました。法学基礎マスター講座は、伊藤塾という司法試験受験生の間で非常に高いシェア率を誇る予備校が提供している講座なので、これから法律の勉強を始めようという方にはぴったりだと思います。

そして、法職課程研修室は、一人一人に机とロッカーが貸し出されます。自宅で集中して勉強できない方や講義の空きコマにもしっかりと勉強したい方は利用するとよいと思います。私も実際、4年生の夏に受けた予備試験の短答式試験の前には朝から夜まで研修室を利用し、無事に合格することができました。

2. 法科大学院対策について

法科大学院対策では、早めに勉強にとりかかることが大切です。具体的には、4年生に上がるタイミングで基本7法の基礎と論文の書き方を一通り抑えていれば法科大学院入試においてはかなり有利だと思います。そして、過去問検討も同じくらい大切です。法科大学院によって出題される科目の数や問題の傾向、試験時間、要求されるレベルなどが違います。そのため、できるだけ早く直近数年分の過去問に目を通し、最終的なゴールから逆算して計画を立てることが重要です。とはいえ、2年生の方などはまだ入試まで時間があるので、本格的な対策をすぐに始めるのは難しいと思います。そこで、今からできる対策としては、学部成績（GPA）を上げることだと思います。受ける法科大学院によっては合格点の半分近くが学部成績等を考慮した書類点で占められていることがあるので、受験しようと思っている法科大学院の募集要項などを確認し、今のうちに高い成績を維持できるように勉強してほしいです。また、予備試験を受けてみることもおすすめです。短答に出てくる知識は非常に細かいですが、民法や商法などの細かい条文知識が求められるような科目ではきっと役に立つと思います。

3. 最後に

法科大学院入試は、ここ2、3年でかなり倍率が上がり、合格難易度が高くなっているため、受験を考えている後輩の皆さんには様々な不安や焦りがあると思います。しかし、目の前のことを着実にこなしていけば、自ずと法科大学院ないし司法試験の合格に近づくことは紛れもない事実です。そのため、まずは目の前の講義や期末試験などに全力で取り組み、その上で後悔のないよう日々の勉強を大切にしていってほしいと思います。

フォローアップ体制

法職課程では、これまでに記載した各講座のほか、様々なフォローアップ体制により、受講生の皆さんの疑問や、不安の解消、知識の確実な定着などをお手伝いしています。

①「法職課程相談室」で法職カウンセラーによる質問対応

法職カウンセラーが法職課程相談室に常駐し、皆さんの質問や学習をする上で生じる悩みなどの相談に応じます。

②法職課程研修室の利用

別途申込（有料）を行うことで、4号館2階の法職課程研修室を利用することができます。研修室には個人指定席が設置されており、落ち着いた環境で勉強に専念できます。申込方法等の詳細は、P.12をご確認ください。

③問題集や資格試験対策雑誌等の図書利用

法職課程では受講生が自主学習や資格試験対策に利用できるよう、法職課程相談室や法職課程研修室に問題集や資格試験対策雑誌等を配架しています。ぜひ活用してください。

④特別奨励研修制度や講演会等の実施

受講料が返金される「特別奨励生」の選考試験の実施（詳細はP.1を参照）や、様々な講演会を開催しますので活用してください。

Fukakusa Campus

龍谷大学 法職課程

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel : 075-645-7896 FAX : 075-643-9901
e-mail : hogaku@ad.ryukoku.ac.jp
<https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/syokatei/housyoku/>
受講申込み・質問などについては法学部教務課へ問い合わせてください。

